

事業報告書(HP 公開用)

講座名	第25回 沖縄県母親大会
日時	2019年9月15日(日) 13:00開始 16:30終了
目的	「子どものおかれた現状～制度の狭間の子どもたち～」をテーマに子どもたちの現状を理解し,大人の果たす役割などを学習し交流する。
対象	県内在住の女性及び関心のある方
講師	講師;堀川愛沖縄子ども総合研究所所長
会場	浦添市てだこホール市民交流室
定員	100名(申込者数; 名)
参加者	70名(男性 10名・女性 60名)
講演内容(概要)	沖縄の子どもたちの不登校の割合は全国的にもワーストになっている。その不登校の子どもたちの居場所がないということも問題。その背景には親たちの共働きが多く、しかも長時間・低賃金で、子どもの貧困率も全国の3倍という現状がある。3食が満足に取れなかった経験を持つ子どもも少なからず居る。子どもたちの居場所を立ち上げて聞こえてきた子どもたちの声は「普通であるべき」という理論で無意識に加害行為を受けている。子どもたちが不登校になっている理由,学校から排除されている状況を子どもたちから聞いて、どうしたいのか、大人はどう関わったら?「べき論」から抜け出る必要がある。指導ではなく支援・伴奏をするという姿勢で子どもの権利を守れる社会を作ろう。
参加者の声	自分たちが子育てをしていくときに,待てる大人になれるようにしたい。制度の狭間に落ちてしまっている子どもたちの居場所としての子どもシェルターを開設しておられることに賛同する。個人の助け合いも大切だが、公的支援としての児童館の拡充や給食費の無料化などでお金の心配なく子どもたちが食べることができ、学習することに意義を見いだすことができる,子どもの意見が尊重されるそんな社会を作れたらという感想も寄せられた。
写真	別添
共催	(公財)おきなわ女性財団



2019.09.15

オープニング



2019.09.15

講演



2019.09.15

講演を聴く



2019.09.15

グループ討論